

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社

コード番号 6769 URL <http://www.thine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚哲哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 高田康裕

TEL 03-6860-0666

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	5,700	△40.1	355	△82.2	241	△87.7	125	△88.9
21年12月期第3四半期	9,516	31.6	1,995	141.2	1,964	181.1	1,130	179.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	1,032.62	—
21年12月期第3四半期	9,279.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	12,600	11,654	92.1	95,248.09
21年12月期	13,429	11,585	86.0	94,877.31

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 11,600百万円 21年12月期 11,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	600.00	600.00
22年12月期	—	0.00	—		
22年12月期(予想)				600.00	600.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△33.2	492	△74.9	435	△78.2	267	△79.5	2,198.41

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期3Q	123,401株	21年12月期	123,401株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	1,607株	21年12月期	1,607株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期3Q	121,794株	21年12月期3Q	121,790株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績当は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は2010年から2012年に至る中期経営戦略「TACK123」を掲げ、その達成に向けた取組みを行っています。「TACK123」では逆風とも言うべき経済環境の中で機動的に方向を切り換えながら成長に向けた前進を図ることにより、業界をリードする第1級のサプライヤーであり続け、現有経営リソースによる売上総利益を3年間で2倍の成長（有機的成長）を目指し、さらにM&Aの機会を貪欲に追求することにより2012年の売上総利益を3倍に成長（化学的成長）させることを目指しています。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用情勢の厳しさに加え、海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動、デフレの影響などにより、環境の悪化傾向が続きました。

当社関連事業においては、既存技術を利用した製品を中心とした事業展開をしていますが、その価格低下が進んでいます。一部顧客における当社製品シェア調整が見られたほか、当社による案件の絞込を行ったことなどにより、全体としては出荷数量が減少しました。こうした状況の中、3D（3次元）対応テレビ等に用いられる高速インターフェースLVDSや電源制御用LSIが出荷数量を伸ばすとともに、1300万画素や800万画素に対応する携帯電話向け画像処理LSIも順調に出荷数量を伸ばしました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は57億円（前年同期比40.1%減）、連結売上総利益は26億15百万円（前年同期比40.8%減）となりました。案件の絞込と原価低減策を講じたことにより、売上総利益率46%を確保し、次世代新製品を展開可能な業界ポジションを維持することができました。

当第3四半期連結累計期間の研究開発活動につきましては、短期間での利益回収確度が高いプロジェクトへの重点化を図りました。特に、テレビ市場において3Dテレビや4倍速テレビ（1秒間に240コマのフルHD画像を表示するテレビ）等の開発が伸展する状況に伴い、当社は、日本、韓国市場に加えて、中国及び台湾市場への戦略を強化し、画像エンジンと表示制御用LSIとの間を高速に接続できる次世代インターフェースであるV-by-One[®]HS関連の技術開発と顧客向け営業活動を積極的に実施しました。さらに、表示制御用LSIと液晶ドライバとを高速接続する新しいドライバ・インターフェースであるCalDriCon[®]の開発を完了しました。今期末を目標としてこれらの新技術を搭載した新製品を投入することを計画しています。また、事務機器、アミューズメント、電子ペーパー等向けにも展開するための戦略的な技術開発を行いました。利益回収確度の高いプロジェクトに集中投下する戦略により研究開発費は15億79百万円（前年同期比3.3%減）となりました。研究開発の重点化に伴い、今後、さらに回収確度の高いプロジェクトを新規に実施するための余力も強化できました。

以上により、当第3四半期連結累計期間において、連結営業利益は3億55百万円（前年同期比82.2%減）、連結経常利益は2億41百万円（前年同期比87.7%減）、連結四半期純利益は1億25百万円（前年同期比88.9%減）となりました。

* 「V-by-One」および「CalDriCon」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

* 中期経営戦略「TACK123」に関する数値はあくまでも目標数値であり、達成を保証するものではありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び売掛金が減少した一方、営業投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比較して、8億29百万円の減少となりました。負債合計は、買掛金及び未払法人税等の減少等により8億97百万円の減少となりました。これらにより当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は92.1%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益を2億43百万円計上し、売上債権が3億39百万円減少、たな卸資産が1億50百万円減少した一方、営業投資有価証券が1億30百万円増加、仕入債務が2億30百万円減少したことなどにより54百万円のマイナスとなりました。（前年同期7億88百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の取得による支出等により11億29百万円のマイナスとなりました。（前年同期15億80百万円のプラス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払により73百万円のマイナスとなりました。（前年同期54百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として14億1百万円減少して当第3四半期連結累計期間末残高は85億33百万円となりました。当社としては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の通期業績予想については、平成22年8月5日に公表しました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,533,961	9,935,172
売掛金	723,944	1,063,702
営業投資有価証券	216,366	85,724
商品及び製品	458,621	500,035
仕掛品	265,672	132,293
原材料	64,622	306,992
繰延税金資産	114,274	183,165
その他	175,721	66,153
貸倒引当金	△650	△3,500
流動資産合計	10,552,534	12,269,741
固定資産		
有形固定資産	230,907	187,306
無形固定資産		
のれん	24,112	96,448
その他	53,696	46,614
無形固定資産合計	77,808	143,063
投資その他の資産	1,739,213	829,438
固定資産合計	2,047,929	1,159,809
資産合計	12,600,463	13,429,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	517,211	748,197
未払法人税等	62,056	528,808
賞与引当金	115,486	90,630
役員賞与引当金	13,500	19,000
移転費用引当金	—	33,300
その他	237,687	423,812
流動負債合計	945,941	1,843,748
負債合計	945,941	1,843,748

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,291,546	1,291,546
利益剰余金	9,381,959	9,329,269
自己株式	△225,652	△225,652
株主資本合計	11,623,120	11,570,429
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,636	—
為替換算調整勘定	△19,837	△14,942
評価・換算差額等合計	△22,474	△14,942
新株予約権	53,875	30,313
純資産合計	11,654,522	11,585,801
負債純資産合計	12,600,463	13,429,550

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,516,526	5,700,810
売上原価	5,095,897	3,085,724
売上総利益	4,420,628	2,615,086
販売費及び一般管理費	2,425,063	2,259,676
営業利益	1,995,565	355,409
営業外収益		
受取利息	17,155	7,028
受取配当金	—	14,516
消費税免除益	7,565	—
雑収入	5,409	6,646
営業外収益合計	30,130	28,191
営業外費用		
為替差損	60,860	142,277
営業外費用合計	60,860	142,277
経常利益	1,964,834	241,323
特別利益		
新株予約権戻入益	40,777	—
貸倒引当金戻入額	—	2,850
特別利益合計	40,777	2,850
特別損失		
固定資産除却損	1,711	889
移転費用引当金繰入額	97,045	—
特別損失合計	98,756	889
税金等調整前四半期純利益	1,906,855	243,283
法人税、住民税及び事業税	833,097	67,736
法人税等調整額	△56,453	49,780
法人税等合計	776,643	117,516
四半期純利益	1,130,211	125,766

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	3,620,270	1,921,997
売上原価	2,028,250	941,044
売上総利益	1,592,020	980,953
販売費及び一般管理費	820,632	791,996
営業利益	771,387	188,956
営業外収益		
受取利息	3,840	2,217
受取配当金	—	14,516
匿名組合投資利益	4,402	—
雑収入	1,830	5,322
営業外収益合計	10,073	22,056
営業外費用		
為替差損	114,868	84,155
営業外費用合計	114,868	84,155
経常利益	666,592	126,857
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	210
特別利益合計	—	210
特別損失		
移転費用引当金繰入額	97,045	—
特別損失合計	97,045	—
税金等調整前四半期純利益	569,547	127,067
法人税、住民税及び事業税	352,910	61,988
法人税等調整額	△101,127	△6,867
法人税等合計	251,782	55,120
四半期純利益	317,765	71,946

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,906,855	243,283
減価償却費	54,017	84,064
のれん償却額	72,365	72,336
株式報酬費用	22,308	23,561
新株予約権戻入益	△40,777	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,570	△2,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	81,210	24,856
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△500	△5,500
移転費用引当金の増減額(△は減少)	97,045	△33,300
受取利息及び受取配当金	△17,155	△21,545
為替差損益(△は益)	10,912	140,355
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	19,170	△130,641
固定資産除却損	1,711	889
売上債権の増減額(△は増加)	△359,673	339,757
たな卸資産の増減額(△は増加)	△606,634	150,405
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△7,930	△110,318
仕入債務の増減額(△は減少)	59,689	△230,985
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△180,226	△99,862
小計	1,115,958	444,507
利息及び配当金の受取額	20,756	22,390
法人税等の支払額	△348,365	△521,717
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,349	△54,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△47,040	△236,066
投資有価証券の取得による支出	—	△998,080
定期預金の払戻による収入	900,000	—
営業譲受による支出	△200,000	—
敷金の差入による支出	△79,065	—
敷金の回収による収入	—	111,994
有価証券の償還による収入	1,000,000	—
その他	6,876	△7,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,580,770	△1,129,419
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△54,805	△73,076
ストックオプションの行使による収入	728	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,077	△73,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,771	△143,895
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,304,270	△1,401,211
現金及び現金同等物の期首残高	7,248,320	9,935,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,552,590	8,533,961

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占めるLSI事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占めるLSI事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

本邦の売上高の金額は全セグメントの売上高の合計に占める割合が、90%を超えるため所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

本邦の売上高の金額は全セグメントの売上高の合計に占める割合が、90%を超えるため所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。